



～東京・ベルリン友好都市提携20周年記念～ 「文化の力・東京会議2014」の開催について

東京文化発信プロジェクトでは、東京・ベルリン友好都市提携20周年記念事業として、ベルリンから基調講演者等を招聘し、「文化の力・東京会議2014」を開催します。

テーマを「文化創造都市とフェスティバル」とし、オリンピックも視野に入れながら、フェスティバルと都市の魅力向上について議論するとともに、文化政策・事業としての都市型フェスティバルのあり方について考えます。

【開催概要】

- 日 時： 平成26年11月7日（金） 16：00～19：45 （15：30開場）
- 会 場： 都庁都民ホール（新宿区西新宿二丁目8番1号）
- 主 催： 東京都、東京文化発信プロジェクト室（公益財団法人東京都歴史文化財団）
- 共 催： ベルリン市、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）
- 協 力： 東京ドイツ文化センター、ブリティッシュ・カウンシル、韓国文化院
- 内 容： **【基調講演】**
 - トーマス・オーバーエンダー氏〔ベルリン芸術祭総裁〕
 - 逢坂恵理子氏〔横浜美術館館長〕**【パネルディスカッション】**
 - コンラート・シュミット＝ヴェルテルン氏〔ベルリン市文化部長〕
 - ルイズ・ジェフリーズ氏〔バービカン・センター アーツ部門ディレクター〕
 - イム・ミハ氏〔ソウル芸術文化財団 芸術教育チーム長〕
 - 橋本裕介氏
〔ロームシアター京都/KYOTO EXPERIMENT プログラムディレクター〕
 - 三好勝則氏
〔アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）機構長〕**【モデレーター】**
 - 片山正夫氏
〔公益財団法人セゾン文化財団常務理事、東京芸術文化評議会専門委員〕
- 参加費： 無料 ■定 員： 200名（※申込者多数の場合は抽選）
- 申込み： ①下記専用フォームに必要事項を記入し送信
<http://bit.ly/tokyoconference2014>
②下記HPからダウンロードした専用の申込み用紙に記入し、
FAX（03-5439-4521）で送信
<http://tokyo-conference.jp>

<問い合わせ先>

生活文化局文化振興部文化事業課 電話 03-5388-3153 内線 29-460・440

公益財団法人東京都歴史文化財団東京文化発信プロジェクト室 電話 03-5638-8805



**東京・ベルリン友好都市提携 20 周年記念
文化の力・東京会議 2014「文化創造都市とフェスティバル」
開催・参加者募集のご案内**

東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団が展開する「東京文化発信プロジェクト」では、東京の文化の国際発信と国際ネットワークの強化を目的とするネットワーキング事業の一環として、平成 23 年より「文化の力・東京会議」を毎年秋に開催しています。国内外から専門家を迎え、関係者とともに社会における文化芸術について、様々な角度から議論を重ねてきました。4 回目となる今年は、東京・ベルリン友好都市提携 20 周年記念事業と位置づけ、11 月 7 日（金）、都庁都民ホールで開催します。

■文化創造都市とフェスティバルのあり方について考える

現代の主要なフェスティバルや芸術祭の中には、20 世紀前半に創設されたものもあり、現在では世界中で様々なフェスティバルが開催されています。

では今、21 世紀の現代、都市においてフェスティバルを開催する意義とは何でしょうか。そして、フェスティバルだからこそ生み出すことのできる新しい価値とは。都市に生活する私たちにとってフェスティバルはどのような意味を持ち、自治体の文化政策・事業には何が期待されるのでしょうか。ベルリン、ロンドン、ソウル及び日本の各都市から専門家を招き、相互の共通点を見出しつつ 2020 年東京オリンピック・パラリンピックも視野に入れながら、文化創造都市とフェスティバルのあり方について考えます。

(1) 世界 4 か国より芸術文化の専門家を迎えます

東京・ベルリン友好都市提携 20 周年記念事業である今年の会議では、多種多様な国際フェスティバル等が文化創造都市としての魅力を生み出しているベルリンをはじめ、ロンドン、ソウル、そして日本からゲストを迎えます。

年間を通して多様なジャンルのフェスティバルや美術展を開催しているベルリン芸術祭の総裁であるトーマス・オーバーエンダー氏、ヨコハマトリエンナーレをはじめ様々な現代美術国際展を手掛けている逢坂恵理子氏（横浜美術館館長）による基調講演。続いて、ヨーロッパ最大規模の複合文化施設パービカン・センター（ロンドン）アーツ部門ディレクターのルイーズ・ジェフリーズ氏、ソウル市の文化政策を担うソウル芸術文化財団芸術教育チーム長 イム・ミヘ氏、京都を舞台に国際舞台芸術フェスティバル「KYOTO EXPERIMENT」を手掛けるほか、来年度オープンするロームシアター京都のプログラムディレクターでもある橋本裕介氏、ベルリン市文化部長のコンラート・シュミット＝ヴェルテルン氏、そしてアーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）機構長の三好勝則氏も加わり、モデレーターの片山正夫氏（公益財団法人セゾン文化財団常務理事・東京芸術文化評議会専門委員）とともにパネルディスカッションを行います。

(2) 開催概要

- 名 称 : 東京・ベルリン友好都市提携 20 周年記念
文化の力・東京会議 2014「文化創造都市とフェスティバル」
- 日 時 : 平成 26 年 11 月 7 日（金） 16 時～19 時 45 分（15 時 30 分開場）
- 会 場 : 都庁都民ホール 東京都庁 都議会議事堂 1 階（東京都新宿区西新宿 2-8-1）
- 参加費 : 無料 *日英同時通訳つき（基調講演 I は日・独・英の同時通訳つき）
- 定 員 : 200 名 *応募者多数の場合は抽選になります
- 公式ウェブサイト : <http://tokyo-conference.jp>
- 申 込 : ウェブサイト、又は、FAX にて受け付けます。詳細は、以下 4 頁をご参照ください。
- 主 催 : 東京都、東京文化発信プロジェクト室（公益財団法人東京都歴史文化財団）
- 共 催 : ベルリン市、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）
- 協 力 : 東京ドイツ文化センター、ブリティッシュ・カウンシル、韓国文化院
- 運 営 : 公益社団法人企業メセナ協議会

(3) 出演者プロフィール

トーマス・オーバーエンダー | Dr. Thomas Oberender

【ベルリン芸術祭総裁】

1966年イェナ生まれ。2012年ベルリン芸術祭総裁に就任。2006年から2011年までザルツブルク芸術祭演劇部門ディレクター。2005/06年はスイス・チューリヒ劇場のチーフ・ドラマトゥルグ及び共同ディレクター、2000年から2005年までボッフム劇場のチーフ・ドラマトゥルグ及びアーティスティック・ディレクター・チームのメンバー。1988年より2000年までベルリン在住、1999年ベルリン・フンボルト大学で博士号取得。1997年ドイツ語圏劇作家の新作戯曲を広めるための劇作家協会(TNT)創立に関わる。戯曲や戯曲翻訳を手掛けるほか、エッセイ、演劇・文学批評も書き、2000年万博、フェスティバル・ルール・トリエンナーレ(2004年・2005年)、欧州文化首都ルール地方(2010年)においてプロジェクトも実現させる。著書多数。



©Magdalena Lepka

逢坂恵理子 | Eriko Osaka

【横浜美術館館長】

東京都生まれ。学習院大学文学部哲学科卒業 専攻芸術学。国際交流基金、ICA名古屋を経て、1994年より水戸芸術館現代美術センター主任学芸員、1997年より2006年まで同センター芸術監督。2007年より2009年1月まで森美術館 アーティスティック・ディレクター。2009年4月より横浜美術館館長に就任。また、1999年第3回アジア・パシフィック・トリエンナーレで日本部門コーディネーター、2001年第49回ヴェニス・ビエンナーレで日本館コミッショナー、ヨコハマトリエンナーレ 2011 総合ディレクター、横浜トリエンナーレ組織委員会委員長をつとめるなど、多くの現代美術国際展を手掛ける。



photo: Risaku SUZUKI

ルイーズ・ジェフリーズ | Louise Jeffreys

【バービカン・センター アーツ部門ディレクター】

バービカン・センターの芸術プログラムと戦略的ヴィジョンの策定、実現、実行を担う。前職は同センターの演劇・アーツプロジェクト部長で、当時新設されたbite(バービカン・インターナショナル・シアター・イベント)を1999年から運営した。biteはロンドンで最も革新的な芸術プログラムを手掛けるもののひとつとなり、国際的に活躍する主要な舞台芸術家を英国に招き、過去10年間で最も影響力のあるアーティストや作品について共同コミッションを行っている。バービカン・センター勤務に先立ち、英国中部ノッティンガム・プレイハウスの業務部長、ドイツ・ミュンヘンのバイエルン州立歌劇場の制作業務部門チーフ、ロンドンのイングリッシュ・ナショナル・オペラの技術部長をつとめた。



イム・ミヘ | Mihye Lim

【ソウル芸術文化財団 芸術教育チーム長】

ソウル生まれ。ARKO アーツシアターの初代プロデューサー・プログラマーをつとめたほか、ソウル芸術文化財団(SFAC)にてフェスティバル、芸術教育、文化戦略企画等、多分野に関わる。ソウル芸術文化財団はソウル市政府の文化政策を实践する組織。ニューヨークのコロンビア大学・ティーチャーズカレッジにてアーツアドミニストレーションのMA取得。現在SFACの芸術教育と芸術プログラムを通して創造性へのコミットメントをはかる部門のディレクターをつとめる。音楽家及びアーツ・アドミニストレーターとしての自らの経験を活かし、現在では、芸術を日常生活に組み入れ、創造的学習法の開発を通して、都市の文化的潜在能力をより多く引き出すことに深く関心を抱いている。



橋本裕介 | Yusuke Hashimoto

【ロームシアター京都/KYOTO EXPERIMENT プログラムディレクター】

京都大学在学中の1997年より演劇活動を開始。2003年、橋本制作事務所設立。現代演劇、コンテンポラリー・ダンスのカンパニーマネジメントや、京都芸術センター事業「演劇計画」などの企画を手掛ける。2010年より国際舞台芸術祭「KYOTO EXPERIMENT」を設立、プログラムディレクターをつとめる。2013年より舞台芸術制作者オープンネットワーク(ON-PAM)理事長。2014年1月よりロームシアター京都プログラムディレクター。



【ベルリン市文化部長】

1973年ボン生まれ。現在ベルリン市長クラウス・ヴォーヴェライトのもとで文化部長をつとめる。ミュンヘン大学とフライブルク大学で法学を学び、2003年博士号取得。早いうちからドイツの主要全国紙ディー・ツァイトやフランクフルター・アルゲマイネにて研鑽を積む。2004年ベルリン市長の文化行政にシニア・アドバイザーとして加わる。2007年から12年まで、ケルン市文化部長をつとめた。その後ベルリンに戻り現職。2010年より国際アートマネジメントセンター（CIAM）の客員講師。かつてパリとハノイに住んだ経験から、英語のほかフランス語にも堪能だが、ヴェトナム語はスープを注文できる程度。



三好勝則 | Katsunori Miyoshi

【アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）機構長】

1953年、香川県生まれ。東京大学法学部卒業。自治省（現在の総務省）に入省し、国及び地方自治体において、行財政や地域政策に関わる制度の立案、執行に携わる。この間に、東京都生活文化局文化振興部長、香川大学大学院地域マネジメント研究科教授を歴任し、「文化を基調とした地域再生に関する研究会」委員などをつとめる。2012年、東京における芸術文化創造のさらなる促進と東京の魅力向上を図ることを目的として、アーツカウンシル東京が設立されたことに伴い機構長に就任する。文化審議会臨時委員・文化政策部会委員、工学院大学建築学部まちづくり学科特任教授。



【モデレーター】片山正夫 | Masao Katayama

【公益財団法人セゾン文化財団常務理事、東京芸術文化評議会専門委員】

1958年兵庫県生まれ。（株）西武百貨店を経て1989年（財）セゾン文化財団事務局長に就任。2003年より現職。1994年、ジョーンズホプキンス大学フェローとして、助成財団の評価を研究。現在、立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科特任教授、東京芸術文化評議会専門委員、アーツカウンシル東京・カウンシルボード委員、市民社会創造ファンド運営委員、トーキョーワンダーサイト企画運営委員のほか、（公財）公益法人協会、（公財）助成財団センター、（公社）企業メセナ協議会等で理事を、（学）国立学園で監事をつとめる。共著書に「NPO 基礎講座」「プログラム・オフィサー」「民間助成イノベーション」等。



(4) 会議の構成

16:00-16:10	主催者挨拶
16:10-17:00	基調講演 I 「なぜフェスティバルなのか？ その独自性と社会的文脈について」 トーマス・オーバーエンダー氏
17:00-17:50	基調講演 II 「拡張する国際芸術祭－現代美術の可能性を読み解く」 逢坂恵理子氏
18:00-19:45	パネルディスカッション 【パネリスト】 トーマス・オーバーエンダー氏 逢坂恵理子氏 ルイズ・ジェフリーズ氏 イム・ミヘ氏 コンラート・シュミット＝ヴェルテルン氏 橋本裕介氏 三好勝則氏 【モデレーター】片山正夫氏

(5) 申込み方法

ウェブ	申込み専用フォーム (http://bit.ly/tokyoconference2014) から申込み
FAX	専用の申込み用紙に記入の上、03-5439-4521 に送信 ・専用の申込み用紙は、ホームページ (http://tokyo-conference.jp) からダウンロード可能 ・専用の用紙がダウンロードできない方は、必要事項を記載の上、上記番号に送信 【必要事項】 申込者の ①氏名、②所属【会社名・役職など】(会社・団体等未所属の方は不要)、③住所、④電話番号・FAX 番号、⑤メールアドレス (お持ちでない方は不要)、⑥ご希望の連絡方法 (メール・電話・FAX)
締め切り:	10月15日(水) 17:00まで受付
抽選結果:	10月25日頃までに、ご応募いただいた方全員に、ご希望の連絡方法にてご案内します。 ※なお、定員に達しなかった場合には、引き続き専用フォームから先着順にて受付を行います。

○関連プログラム

■国際招聘プログラム

若手の文化・芸術関係者を海外から招き、東京文化発信プロジェクト事業等の視察や日本の関係者との交流・意見交換を行います。帰国後、参加者に視察内容やその評価を自国にて発信してもらうほか、関係者とのネットワークを形成・強化し、東京の文化の国際発信につなげていきます。また、11月8日(土)には文化・芸術関係者との『プレゼンテーション&意見交換会』を実施します。

日時 : 平成26年11月6日(木)～15日(土)

会場 : 都内各所

参加者 :

- ・ マグダレーナ・アルペ | Magdalena Arrupe (ブエノスアイレス)
【南米美術館文学プログラム・アーツマネージャー】
- ・ ヘルマン・バシロン・メンドリッキオ | Herman Bashiron Mendolicchio (バルセロナ)
【文化とモビリティ研究、美術批評】
- ・ アマル・イッサ | Amal Issa (バイルート)
【ホーム・ワークスペース・プログラム HWP ディレクター】
- ・ トビ・ミュラー | Tobi Müller (ベルリン)
【ジャーナリスト、ポップミュージック及び演劇】
- ・ ジェイク・オールロフ | Jake Oorloff (コロンボ)
【劇作家、俳優、演出家】

●東京文化発信プロジェクトとは

東京文化発信プロジェクトは、「世界的な文化創造都市・東京」の実現に向けて、東京都と東京都歴史文化財団が、芸術文化団体やアートNPO等と協力して実施している事業です。多くの人々が文化に主体的に関わる環境を整えるとともに、フェスティバルをはじめ多彩なプログラムを通じて、新たな東京文化を創造し、世界に発信していきます。

<http://www.bh-project.jp>

東京クリエイティブ・ウィークス(TCW)参加事業

東京クリエイティブ・ウィークスとは文化のハイシーズンである秋の7週間、伝統文化から現代アートまで、美術館や博物館、劇場・ホールはもちろん、街なかの小さなスペースや商店街、はては魚市場(!)まで、バラエティ豊かな催しが集合。東京のフェスティバルシーズンを盛り上げてゆきます。

日時 : 平成26年9月27日(土)～11月16日(日)

会場 : 都内各所



<本件に関するお問い合わせ先>

公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化発信プロジェクト室 広報担当:森(隆)、浅野
 TEL 03-5638-8805 FAX 03-5638-8811 E-mail press@bh-project.jp